

富士見町防災マニュアル

災害時に生き抜くために

- ◇ 大規模地震が発生するとすべてがマヒ状態になります
- ◇ 3日間は公的な助けはないと考えましょう
- ◇ 3日間は自力で生き抜けるよう準備をしておきましょう

3分間、3時間、3日間

- ◇ 地震発生3分間は自分の身は自分で守りましょう
- ◇ 次の3時間で自宅や地域の安全を確認しましょう
- ◇ そして3日間は準備してある備蓄品で生き抜きましょう

目次

- 1 非常備蓄品(災害復旧までの自力生活用品)
- 2 非常持出品(必需品)チェックリスト
- 3 非常持出品(可能なら持参したいもの)チェックリスト
- 4 家の内外の安全対策
- 5 地震発生時の行動パターン(地震発生想定防災訓練手順)
- 6 富士見町町内会としての緊急避難場所
- 7 鎌倉市が設置している防災対応・避難場所
- 8 災害時の情報の入手、安否確認の方法
- 9 緊急連絡先(エマージェンシーシート)
- 10 富士見町防災組織

1 非常備蓄品

災害復旧までの数日間自力で生活するためのもの

分類	チェック	品目
飲料水		飲料水(1人1日3L×人数×最低3日分)
食料		レトルト食品、アルファ米
		フリーズドライ食品
		インスタント食品
		缶詰、びん詰
		梅干
		チョコレート、氷砂糖、ナッツ
		おやつ類
		赤ちゃん用の食料
		お年寄り用の食料
	燃料	
		予備のガスボンベ
		固形燃料
照明		懐中電灯
		ろうそく
		予備電池
生活用品		携帯ラジオ
		時計
		携帯電話
		毛布
		衣類
		トイレトペーパー
		ドライシャンプー
		ポリ袋
		キッチン用ラップ
		生理用ナプキン
		石油ストーブ
		ブルーシート
	工具類	
		バール
		のこぎり

2 非常持出品(必需品)チェックリスト

避難するときに持ち出す最小限の必需品です。

あまり重いと避難に支障が出るので、必要最小限に留め、すぐ取り出せるところに保管しましょう。

チェック	品目	ポイント
	ヘルメット	または、防災ずきん
	懐中電灯	予備電池も併せて
	携帯ラジオ	FMとAMと両用のもの
	水	ペットボトル、およそ1人1日3L
	非常食	乾パン、アルファ米
	〃	ビスケット、チョコレート、チーズなど
	赤ちゃん用	粉ミルク、離乳食、哺乳瓶
	救急医療品	キズ薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬
	常備薬	お年寄りがいる場合は特に配慮
	貴重品	預貯金通帳、印鑑、キャッシュカード
	証明書類	健康保険証、免許証
	現金	最低3~4万円、硬貨(100円、10円を数十枚)
	生活用品	衣類、防寒具
	〃	下着、靴下
	〃	軍手
	〃	マッチ、ライター
	〃	靴(靴底の固いもの)、スリッパ
	〃	雨具、傘
	〃	タオル、バスタオル
	〃	ポリ袋
	〃	使い捨てカイロ
	〃	携帯電話、携帯電話の充電器
	〃	時計
	〃	マスク
	〃	筆記用具
	衛生用品	生理用ナプキン、紙おむつ
	〃	石鹸、ドライシャンプー
	〃	ちり紙、ティッシュ、ウェットティッシュ
	持出袋	リュックサック、キャリーカート

3 非常持出品(可能なら持参したいもの)チェックリスト

避難するときに可能であれば持っていきたいものです。

長期避難に備えて必要なものを示しました。

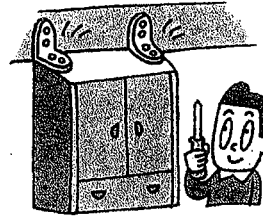
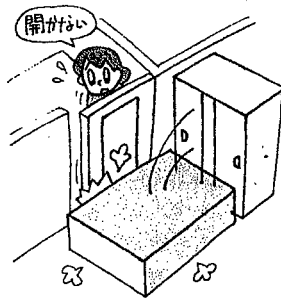
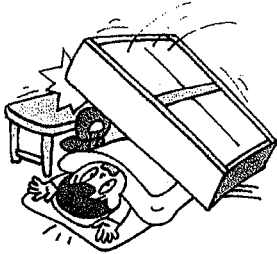
チェック	品目	ポイント
	主食	乾パン、アルファ米
	副食	缶詰、インスタント食品、高栄養食
	//	ビタミン剤
	医療品	体温計
	//	常備薬
	//	看護用品(お年寄り等がいる場合)
	生活用品	衣類、防寒具
	//	下着、靴下、手袋
	//	毛布
	//	タオル、バスタオル
	//	雨具、傘
	//	ナイフ、缶切り、万能ハサミ
	//	マッチ、ライター
	//	ポリ袋
	//	使い捨てカイロ
	//	紙コップ、紙皿、割り箸、スプーン
	//	ラップ、アルミホイル
	//	予備のメガネ
	//	風呂敷
	//	ビニールシート
	衛生用品	生理用ナプキン、紙おむつ
	//	石鹸、ドライシャンプー
	//	ちり紙、ティッシュ、トイレトペーパー
	//	ウェットティッシュ
	//	簡易トイレ
	工具類	スコップ
	//	ボール
	//	のこぎり
	//	ハンマー

4 家の内外の安全対策

家の中の安全対策

家具を安全に配置する

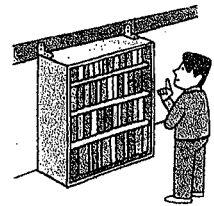
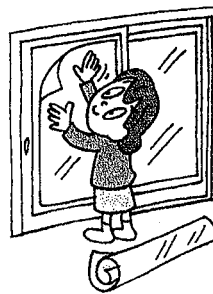
- ・人の出入りの少ない部屋に家具をまとめる
- ・寝る部屋では体の上に倒れない配置をする



家具の転倒・落下を防止する

- ・L型金具、重ね留め用金具の使用
- ・転倒防止シートの使用

窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る

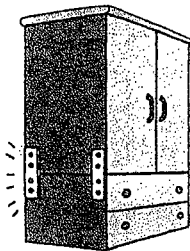
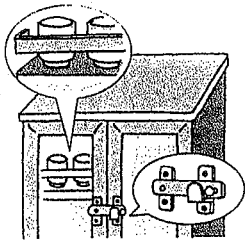


通路や出入口に荷物を置かない

家具の転倒防止策

食器棚

- ・扉が開かないよう金具を取り付ける



本棚

- ・棚板に滑り止めシートを敷く
- ・重い本は下段に
- ・本を隙間なく並べ飛び出しを防ぐ

たんす

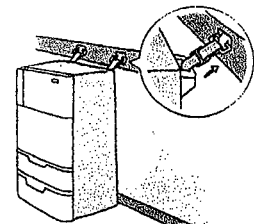
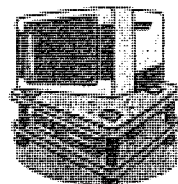
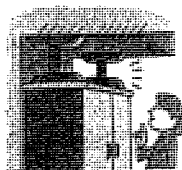
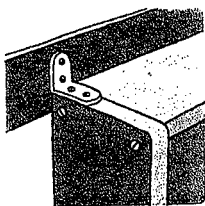
- ・上下二段タイプのは平型金具で連結する

冷蔵庫

- ・背部の取っ手にベルトを掛け固定

金具の利用

- ・背の高い家具はL型金具等で鴨居等に固定



その他の器具の利用

- ・突っ張り棒タイプの器具の利用
- ・耐震粘着マットの利用

家の外の安全対策

屋根

- ・屋根瓦のひび割れ、ずれ、はがれがあれば補強
- ・アンテナはしっかりと固定

ベランダ

- ・整理整頓
- ・植木鉢は落下しないよう低い位置に配置

ブロック塀

- ・ひび割れや傾きがあれば修理
- ・鉄筋が入っていないものは補強

プロパンガスボンベ

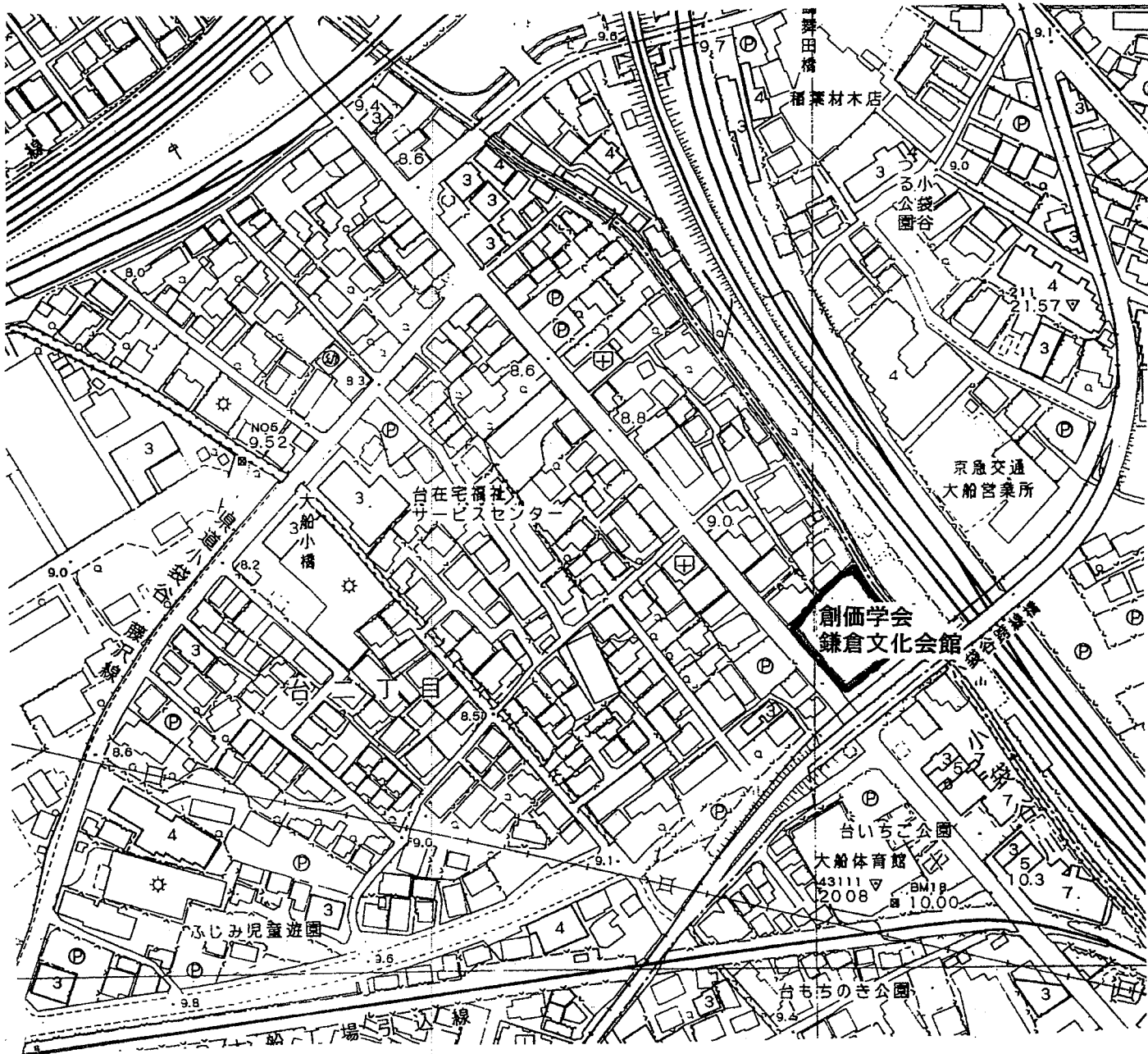
- ・鎖でしっかりと固定

5 地震発生時の行動パターン(地震発生想定防災訓練手順)

時間軸	行動パターン	防災訓練手順
事前想定		普段家の中で最も過ごしている場所にいると想定
地震発生	<p>落ち着いて自分の身を守る</p> <p>火の始末は素早く</p> <p>ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する</p>	<p>机などの下にもぐる</p> <p>余裕のないときは座布団などで頭を保護する</p> <p>落下物のあることを考え、防御体制を取る</p> <p>転倒物のあることを考え、防御体制を取る</p> <p>コンロ、ストーブの火を消す(無理はしない)</p> <p>ガスの元栓を閉める(無理はしない)</p> <p>2ヶ所以上の逃げ道を確保する</p>
1～2分	<p>火元を確認</p> <p>靴(あるいはスリッパ)を履く</p> <p>家族の安全を確認</p> <p>非常持出品を手近に用意する</p>	<p>火元を確認する</p> <p>出火していたら初期消火を行う</p> <p>靴若しくはスリッパを履く</p> <p>ガラスの破片などから足を守る</p> <p>家で一緒にいた家族の安全を確認する</p> <p>避難に備え非常持出品を手元に用意する</p>
3分	<p>隣近所の安全を確認</p> <p>余震に注意</p>	<p>隣近所の安全を確認する</p> <p>一人暮らしの高齢者のお宅に声を掛け、安否を確認する</p> <p>火が出ていたら大声で知らせ、協力して消火する</p> <p>大きな地震の後には余震が発生することを忘れない</p>
5分	<p>ラジオなどで情報を確認</p> <p>電話はなるべく使わない</p> <p>家屋倒壊などの恐れがあれば避難する</p> <p>津波の危険が予想される場合は避難する</p>	<p>間違った情報にまどわされないように</p> <p>電話は掛かり難くなる</p> <p>家屋倒壊などの恐れがあれば避難する</p> <p>近隣では創価学会鎌倉文化会館へ</p> <p>備蓄品が必要ならミニ防災拠点の小学校へ</p> <p>非常持出品を携帯する</p> <p>避難路ではブロック塀やガラスに注意する</p> <p>車は使用しないこと</p> <p>高台へ、高い建物(創価学会鎌倉文化会館)へ</p>
5～10分	<p>停電やガスが出ない時の出火防止</p> <p>子どもを迎えに</p>	<p>停電やガスが出ない時には出火防止を行う</p> <p>ガスの元栓を閉める、電気のブレーカーを落とす</p> <p>自宅を離れる場合は、行き先を書いたメモを掲示する</p>
10分～数時間	<p>消火、救出活動</p> <p>地域の安全を確認</p> <p>(自宅が安全な状態で行う場合)</p> <p>(避難場所に避難してから行う場合)</p>	<p>自宅や家族の安全が確認できたら組の安全確認を行う</p> <p>組長と前年組長が協力して対応に当たることとする</p> <p>一人暮らしの高齢者のお宅に声を掛け、安否を確認する</p> <p>家屋倒壊などが見られるお宅に声を掛け、安否確認をする</p> <p>隣近所と協力して消火や救出活動をする</p> <p>消防署等に通報する</p> <p>町内会防災本部をバイク店ホンダウイングに設置する</p>
～3日間	<p>生活必需品は備蓄でまかなう</p> <p>壊れた家には入らない</p> <p>災害情報、被害情報の収集</p> <p>引き続き余震に警戒する</p>	<p>生活必需品は準備した備蓄品でまかなう</p> <p>3日間は外部からの支援は期待できない</p> <p>市役所の広報等の情報に注意を払う</p> <p>大きな地震の後には余震が発生することを忘れない</p>
避難生活では	<p>自主防災組織を中心に活動する</p> <p>集団生活のルールを守る</p> <p>助け合いの心で臨む</p>	

6 富士見町町内会としての緊急避難場所

町内会としての緊急避難場所 創価学会鎌倉文化会館



町内にある広場

ふじみ児童遊園(通称:タイヤ公園)

電気化学工業大船工場正門前

周辺の施設

鎌倉武道館 山崎616-6 48-8010

大船体育館 台3-2-5 47-1862

大雨の時の車の一時避難場所(車に「富士見町」の表示をしておく)

鎌倉武道館駐車場

創価学会鎌倉文化会館駐車場

7 鎌倉市が設置している防災対応・避難場所

災害が発生したら、近所の公園などに集合

いっとき避難場所に集合(タイヤ公園や電気化学工業正門前)

自宅や公園に大火災が迫ったら、ミニ防災拠点に避難

ミニ防災拠点(被災者収容施設で、どこに避難しても構わない)

山崎小学校 山崎2500 44-1232

大船小学校 大船2-8-1 44-1224

玉縄小学校 玉縄1-860 44-1230

台風や大雨の際に早期段階で開設する避難所で、非常食、毛布、防災資機材などを備蓄している
備蓄品が必要な場合はミニ防災拠点へ

ミニ防災拠点に大火災が迫ったら、広域避難場所に避難

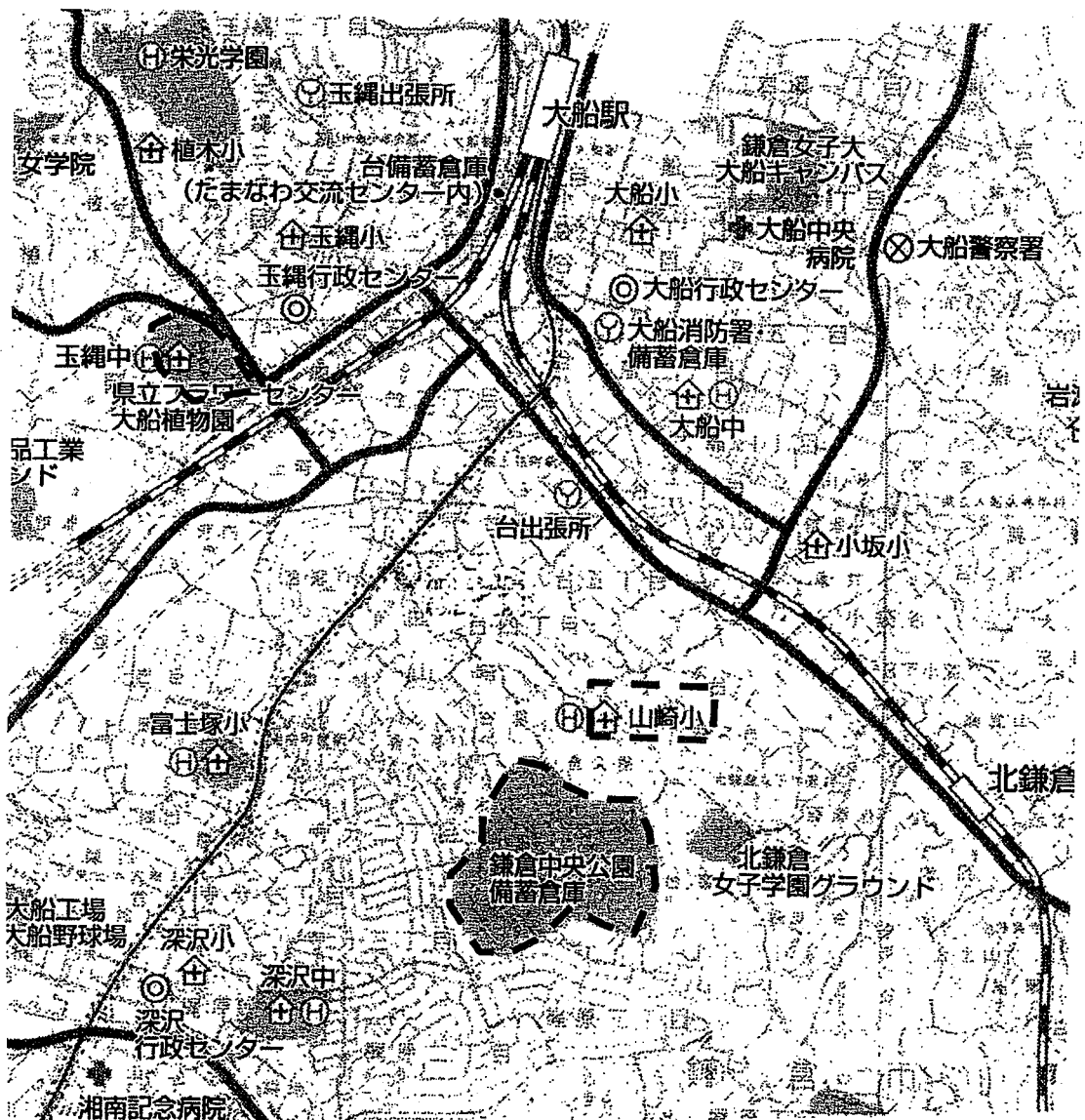
広域避難場所(どこに避難しても構わない)

鎌倉中央公園 山崎1667 45-2750

県立フラワーセンター大船植物園 岡本1018 46-2188

大規模火災が発生した場合に一時避難する空地

火災が収まったらミニ防災拠点または自宅へ



8 災害時の情報の入手、安否確認の方法

災害情報の提供

消防テレホンサービス 0120-24-0467

災害の発生情報や防災用行政無線の放送内容など

鎌倉FM放送 82.8MHz

災害の発生情報など

鎌倉ケーブルテレビ 11CH

災害の発生情報など(テロップ)

鎌倉市防災・安全情報メール

防災行政用無線で放送される情報

(気象の情報の発表・解除、津波、光化学スモッグ、その他の情報)

鎌倉市防災・安全情報メールへの登録方法

携帯電話から登録する場合

QRコードからサイトへアクセス→画面の指示に従い登録

(QRコードは「『鎌倉市防災・安全情報メール』配信について」に記載)



アドレス[URL]<http://www.lamo.jp/kamakura/>を入力→画面の指示に従い登録

パソコンから登録する場合

かまくらGreenNet(鎌倉市ホームページ)へアクセス→総合防災課→画面に従い登録

(鎌倉市 防災安全部 総合防災課 23-3000 内線2614)

災害時の安否確認の方法

災害用伝言ダイヤル「171」を利用する

伝言を録音する時

「171」→「1」→電話番号(市外局番から)→伝言を吹き込む(30秒以内)

伝言を再生する時

「171」→「2」→電話番号(市外局番から)→伝言を聞く

9 緊急連絡先(エマージェンシーシート)

家族の名前	連絡先	電話番号	薬・持病

	連絡先	電話番号	備考欄
緊急	消防(火事・救急車)	119	
	消防本部	25-7550	
	大船消防署	43-2424	
	警察	110	
	大船警察署	46-0110	
市役所	本庁舎	23-3000	
	大船支所	45-7711	
水道	県鎌倉水道営業所	22-6200	
ガス	東京ガス神奈川お客様センター	0466-26-0111	
電気	東京電力神奈川カスタマーセンター	0120-99-5775	
金融機関	大船郵便局	46-3330	
	銀行		
保険会社	生命保険		
	損害保険		
医院・病院 かかりつけ の医院等	大船中央病院	45-2111	
	湘南鎌倉総合病院	46-1717	
家の補修・ 点検			
その他			

休日・深夜・時間外で困ったとき

休日夜間急患診療所(内科)	22-7888	材木座3-5-35
医療機関案内(緊急医療情報センター)	24-0099	
休日急患歯科診療所	47-8119	小袋谷2-14-14

10 富士見町防災組織

富士見町町内会防災部役員編成表(平成23年度)

役職	氏名	住所	電話
防災部長	井上 肇	台2-11-7	46-5051
防災副部長	中山 常雄	台2-7-21	47-1318
防災副部長	竹内 勇	台3-1-10 デクール鎌倉402	45-7590
防災副部長	沢田 正夫	台2-2-18	46-2702
情報班長	梅澤 勝彦	台2-8-11	46-7083
消火班長	中山 常雄	台2-7-21	47-1318
救出救護班長	竹内 勇	台3-1-10 デクール鎌倉402	45-7590
避難誘導班長	國井 浩則	台3-1-6 ヴィルアンシャン鎌倉505	43-7133
給食給水班長	高橋 秀子	台2-9-19	45-2930
企画班長	沢田 正夫	台2-2-18	46-2702
啓発班長	小森谷 祥代	台2-15-49	46-1570
訓練班長	飯田 敦	台2-7-14	48-3035
備蓄班長	小川 典之	台2-2-6	45-2155

平成24年度以降の防災組織について

その年度の「定期総会資料」を参照してください。